

合唱部門プレ大会を開催

ホールに響く歌声 交流深まる



合唱指揮者 武田雅博先生による指導

2018信州総文祭合唱部門プレ大会が、2月11日(日)にキッセイ文化ホールで開かれた。当日は27団体が合唱を発表しあった。また、合唱指揮者の武田雅博先生が指導に当たった。

改善点みつけ満足できる大会に

合唱部門実行委員会生徒部会長の上田高校2年の山口櫻さんは、運営について「初めての運営で上手いかない所もたくさんありました。スタッフ全員が自分の仕事をしっかりとこなそうとしていたの

は良かったと思います。生徒スタッフは前日からのハードスケジュールだったけれど、全員が頑張ってくれて本当に感謝しています」と話した。また、信州総文祭への意気込みについては、「今回改善するべきところをできるだけ改善し、満

足できるように本大会にしたいです。これからのイベントを通し、全員が基礎から勉強し直してプレ大会のリベンジをしたいです」と語った。

合唱を通じて旅をしたい

長野県リーダーズコール団長の諏訪清



交流会に参加する合唱班員

陵高校2年の川口直希さんは、プレ大会について「武田先生にご指導いただき、気持ちの面、技術面の両方でホールいっぱいに歌声を響かせることができました」と話した。また、信州総文祭の意気込みについて「長野県リーダーズコールと各校顧問の先生方と共に合唱を通じて旅をしたいと思います」と語った。

総文祭への取り組みや、アピールポイントについては、「コミュニケーションが取り合える活動を行い、一つのチームになれるように取り組んでいきます。信州総合文化祭では、信長貴富先生に曲を書いていただきます。2018信州総文祭への思いをのせて、長野県リーダーズコールの個性と、信長先生のハーモニーを、全国の高校生に発表します」と語った。



制作
長野県高等学校文化連盟
新聞専門部

第8号



2018信州総文祭
2018-03-16

担当：
上田高校新聞班